

平成26年度事業報告書

平成26年4月1日から

平成27年3月31日まで

1. 会員数の推移

2. 事業概要報告

(注) 事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

一般社団法人関西ニュービジネス協議会

1. 会員数の推移

種別	年月日	平成 25 年度	平成 26 年度	増 減
		26 年 3 月 31 日	27 年 3 月 31 日	
正 会 員	法人A	80	74	△ 6
	法人B	62	53	△ 9
	個人企業	33	23	△ 10
	小 計	175	150	△ 25
賛 助 会 員	法 人	5	5	0
	個人A	9	9	0
	個人B	19	20	1
	小 計	33	34	1
合 計		208	184	△ 24

2. 平成 26 年度実績

<平成 26 年度ブロック別会員数>

平成 27 年 3 月 31 日現在	
大 阪	81
京 都	21
兵 庫	31
福 井	1
滋 賀	7
奈 良	14
和歌山	29
合 計	184

<平成 26 年度入退会実績>

平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 3 月 31 日		
入 会	法人 A	3
	法人 B	4
	個人企業	0
	賛助法人	0
	賛助個人A	1
	賛助個人B	1
	小 計	9
退 会	法人 A	9
	法人 B	13
	個人企業	10
	賛助法人	0
	賛助個人A	0
	賛助個人B	1
	小 計	33
合 計	△ 24	

2. 事業概要報告

平成 26 年度、NBKは関西地域におけるニュービジネス創出の中核機関としての責務を果たすべく、「ニュービジネス成功事例の創出」のための事業を関係諸団体との連携のもと、取り組みました。

具体的には、ニュービジネスの顕彰制度である「NBK大賞 2014」と「NBKフェスタ 2014 in 奈良」及び「ニュービジネス振興研究会(ニュービジネスカフェに名称変更)」事業を重点活動として実施しました。

「NBK大賞 2014」では選考の結果、平成 26 年度の大賞受賞企業に京都ブロック代表の株式会社パシフィックウェブが選ばれました。副賞として賞金 100 万円を拠出し、「ニュービジネスの成功事例の創出」の実現に向けて、同社の実際のニーズに合致した支援を開始しております。

「ニュービジネス振興研究会」については、今年度より「NBKニュービジネスカフェ」と呼称を改め、内容も一新いたしました。「新しく事業を起こして市場を創造し、社会の変革に取り組む起業家」にプレゼンを行っていただき、起業・ニュービジネスに関心を持つ若手社会人や学生等の方々と交えたディスカッション、交流を図りました。今後、ディスカッションの結果を活かし、NBKのこれからのニュービジネスの諸活動に反映させていきます。

会員交流や会員増強の核であるブロック活動に加え、ブロック全体をカバーする広域活動の実施を通じて、会員間のコミュニケーションを高め、会員満足の向上を図ってまいりました。

最後に、独立行政法人中小企業基盤整備機構より委託を受け、大阪府事務局として平成 24 年度補正予算及び平成 25 年度補正予算「地域需要創造型等起業・創業促進事業」を前年度に引き続き行って参りました。また、平成 26 年度地域創業促進支援委託事業管理事務局より創業スクール事業委託を受け、ベーシックコースと女性起業家コースの両コースに取り組みました。

以上で事業概要報告を終わりますが、当協議会の事業活動に当たり、会員企業はもとより関係行政および関係諸団体並びに大学・研究機関等の絶大なるご支援ご協力を賜りましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

■ニュービジネス発掘育成委員会

- (1) ニュービジネス振興研究会(ニュービジネスカフェ)
8月、10月、2月、3月の4回開催。「新しく事業を起こして市場を創造し、社会の
変革に取り組む起業家」にプレゼンを行っていただき、起業・ニュービジネスに関
心を持つ若手社会人や学生等の方々と交えたディスカッション、交流を図った。
- (2) 起業の鉄則研究会
ベンチャー企業の経営者や研究会メンバーによる講演会などを中心に、原則、偶数
月を神戸の会場で、奇数月を大阪の会場で第2土曜日に12回開催。起業に関する情報
提供を通じ、起業家の創出、育成を支援した。
- (3) 女性輝き部会(JKB)について
5月、7月、11月、1月、3月の5回ミーティングを開催。会員の勉強会と女性起業
家育成塾実現を視野に入れた活動を行った。
- (4) 総会、理事会、幹部会等について
第2回定時総会を6月に開催。理事会を4月、5月、9月、12月(書面)、1月、3月
の計6回開催。また、常任理事会を11月に開催した。会員の交流事業としては、夏の
ビッグイベント2014を9月、賀詞交歓会を1月、大阪ベンチャー&サポーター合同交
流会を3月に開催した。
- (5) 共催事業の実施
共催事業として、「夏のビッグイベント2014」((公社)兵庫工業会、兵庫県中小企業
団体中央会、(公財)ひょうご産業活性化センターとの共催)を実施した。
- (6) 大阪ベンチャー&サポーター合同交流会の実施
3月2日(月)、大阪産業創造館4階イベントホールにおいて、「大阪ベンチャー&
サポーター合同交流会」を実施した。ベンチャー企業18社がプレゼンテーションを行
った後、エンジェルやベンチャーキャピタルといった支援者側との個別ミーティングも
実施。
当日は各団体関係者、支援対象のベンチャー企業、ベンチャーキャピタル、金融機関、
エンジェル、公的機関の担当者など77名が参加し好評を博した。
- (7) 女性起業家応援プロジェクト「LED関西」への参画
関西発・1枚のシートをきっかけに、ジブンを交えるスタートアップコンテスト「女
性起業家応援プロジェクト_LED(=レッド)」にサポーターとして参画、女性の「想い」
や「夢」の実現をバックアップしていく。なお、第1回目の1月24日(土)にビジネ
スプラン発表会を開催。
- (8) 広報活動について
◆NBK広報誌「ザッツNB」を冊子形式にて発信
NBKの事業内容や会員企業等の新規事業等の情報、行政・大学・研究機関・全国
のニュービジネス支援団体等に関する情報を掲載し、2回発行。ニュービジネス関連
の情報提供として、会員企業をはじめ関係機関・報道機関に配布した。発行部数は
1,000部。

◆NBKホームページ

会員企業、新規事業支援機関、大学・研究機関の支援施策、ニュービジネス関連事
項、NBK関連事業(NBK大賞、経営セミナー等)の案内や、公益法人としての情
報開示を行った。アクセス数は約35,000件/月であった。

◆ニュービジネス情報「NBKニュース」のEメール配信

関係機関等の最新のニュービジネス情報、NBK活動案内、ニュービジネスに関
わるイベント案内を、会員並びに配信希望のある非会員を含め1,500人(企業)に月
平均2回配信した。

(9) JNB(日本ニュービジネス協議会連合会)関連について

JNB定時総会を6月に開催。理事会を5月、6月、7月、1月、3月の5回開催。
また、全国会長会議を6月、11月に、事務局代表者会議を7月に開催。11月には第
10回新事業創出全国フォーラムを静岡で開催、また、新春賀詞交歓会が1月に開催
された。

(主な事業活動)

- ①各協議会相互の情報交流とニュービジネス情報の共有
- ②各地域協議会会員の企業成長のための事業交流
- ③JNB政策への提言反映・行政とのタイアップ活動
- ④各地域協議会の強化と全国への展開
- ⑤ニッポン新事業創出大賞の実施

■ニュービジネス支援委員会

(1)「NBKフェスタ2014 in 奈良」の開催について

11月27日(木)、「NBKフェスタ2014 in 奈良」を奈良県奈良市のホテル日航奈
良において開催した。テーマは、『地域のちから再発見』である。
全体は3部構成で、第1部は基調講演と特別講演会、第2部は「NBK大賞2014」
選考会、第3部は「NBK大賞2014」の表彰式とニュービジネスに関係のある方々が
集う「交流会」を実施した。

実施概要は次の通り

<第1部>

- ・基調講演『農から始まる「つながり作り」と「モノづくり」』
講師：寺岡 伸悟氏(奈良女子大学文学部教授・文学博士(社会学))
『農から始まる「つながり作り」と「モノづくり」』のテーマで、奈良県の柿や柿農
家を巡る2つの<連携プロジェクト>を紹介しながら、<農や食>が人をつなぐ
力、モノづくりへの可能性についてわかりやすくお話しいただいた。

<第2部>

- ・「NBK大賞2014」選考会
最優秀社1社のみNBK大賞・近畿経済産業局長賞を授与、大賞受賞者に対する
支援ニーズの確認を行い、大賞受賞者のニーズにあった実効性の高い経営支援を行う

ことにより、「ニュービジネス成功事例の創出」を実現させることを主な目的としている。

大賞選考に先立ち、各ブロックより選出された候補企業が公開プレゼンテーションを行った上で、NBK会長、副会長を核とする審査員による即日の大賞選考が行われた。結果、今年度のNBK大賞は(株)パシフィックウエーブ(京都ブロック代表)に決定した。

<第3部>

・「NBK大賞2014」表彰式・交流会

本年度は、奈良県奈良市のホテル日航奈良「飛天の間」で表彰式と交流会を行った。

(2)「NBK大賞2014」について

関西地域において独創的かつ市場性のあるニュービジネスを展開している企業・経営者の中から最優秀者を選び、その事業成果に対して表彰・公表を行うことにより、これらのニュービジネス経営者の事業成長を側面から支援するとともに将来の起業家発掘・育成を図るものである。

<選考及び発表>

・6月1日から7月31日までを募集期間とし、合計19件の応募があった。

選考期間：8月1日～8月31日

ブロック毎にブロック評価選考委員会を開催し、1社を選出した。
各ブロック賞は次の通り。(順不同)

【大阪ブロック】

対象事業：外国人旅行者の思い出づくりを支援する事業

会社名：株式会社 王宮

代表者：代表取締役 橋本 正権

【京都ブロック】

対象事業：ジェル系次世代型耐荷重素材の開発・製造・販売

会社名：株式会社パシフィックウエーブ

代表者：代表取締役 田中 啓介

【兵庫ブロック】

対象事業：ろ過装置・真空フライ装置の製造・販売

会社名：株式会社 アトラステクノサービス

代表者：代表取締役 鯛かおる

【滋賀ブロック】

対象事業：消化管検査のための自立医療ミニロボットの開発

会社名：株式会社 ミュー

代表者：代表取締役 大塚 尚武

【奈良ブロック】

対象事業：耐衝撃性の高い新構造の緩み止めナット・ボルトの開発・事業化

会社名：株式会社AEファステック

代表者：代表取締役 浅岡 芳彦

【和歌山ブロック】

対象事業：抄紙法を用いた樹脂複合材の開発展開

会社名：株式会社 ワメンテクノ

代表者：代表取締役 坂口 正和

企業訪問調査：9月1日～9月30日

専門家(公認会計士、税理士、中小企業診断士、技術士等の専門家)による貸借対照表、損益計算書等の決算報告書2期分の確認と企業訪問調査を実施した。

・11月27日(木) 公開プレゼンテーションと最終審査

<表彰>

11月27日(水)、「NBK大賞2014」公開プレゼンテーションと最終審査を奈良県奈良市のホテル日航奈良で開催し、多層立体格子構造ジェルという<眠る>ための環境をつくるシング素材を開発した株式会社パシフィックウエーブが、NBK大賞ならびに近畿経済産業局長賞を受賞した。

(3) ブロック事業について

ブロック毎に、地域の特性に合わせた新規性・独自性を重視した活動を実施するとともに、NBK大賞のブロック候補の選定作業を行った。

・各ブロックの活動内容は以下の通り。

① 大阪ブロック

例会を4回開催。「関西ニュービジネス創業スクール」キックオフセミナーの他、産・学より講師を招いての講演会を行った。

「NBK大賞2014」については、市内の他団体と連携・選考の結果、ブロック代表として(株)王宮を選出した。

② 京都ブロック

会員支援による「ニュービジネス成功事例づくり」を目的に、例会を4回開催。ベンチャー企業による『ビジネスプレゼンテーション』等を開催。

「NBK大賞2014」については、(公財)京都産業21、京都商工会議所等と連携・選考の結果、京都ブロック代表として(株)パシフィックウエーブを選出し、同社は見事「NBK大賞」を受賞した。1月には、同社の受賞祝いを兼ねたブロック会員総会兼新年会を行った。

③ 兵庫ブロック

通常例会を3回実施。県内の話題の企業の見学会を行った。

また、9月には兵庫工業会との共催、神戸ベンチャー研究会の運営協力のもと、「夏のビッグイベント2014」のシンポジウム『ウェアラブルでビジネスがどう変わるか』

を実施した。

「NBK大賞 2014」については、神戸ベンチャー研究会と連携し、選考の結果、ブロック代表として(株)アトラステクノサービスを選出した。

④ 滋賀ブロック

過去にNBK大賞滋賀ブロック賞を受賞された企業の見学会を3回開催し、精力的にサポートした。

「NBK大賞 2014」については、滋賀県内のニュービジネス・ベンチャー企業を招聘し、NBK大賞にブロック推薦する企業の選考会を行った。結果、滋賀ブロック代表として(株)ミューを選出した。

⑤ 奈良ブロック

11月の「NBKフェスタ 2014 in 奈良」開催に向け、全会員一丸となって、準備を行った。

「NBK大賞 2014」については、県内団体と連携し、ブロック代表として(株)AEファステックを選出した。同社に対して、今後もサポートを続けていく。

⑥ 和歌山ブロック

お互いの交流の中で刺激し合い、経営技術やモノづくりで企業価値を高め、起業家精神を磨くことを目指し、地元の行政及び諸団体と連携を保ちながら、会員企業の事業紹介を交えた例会を実施した。

通常例会を7月、11月、3月の3回実施。例会では毎回、出席者のスピーチに関する質疑応答や講演会での話題に関する質問があり、有意義なものとなっている。

「NBK大賞 2014」については、県内の団体と連携し、ブロック代表として(株)ワメンテクノを選出した。

⑦ 福井ブロック

今年で25回目を迎えた北陸最大規模の産学官交流イベント「北陸技術交流テクノフェア 2014」が10月16・17日に県産業会館において、NBK他多くの団体の後援で開催されました。

産学官が一堂に会して優秀な技術・製品を展示・紹介し、積極的な商談・交流を図ることで、これまで何度も難局を乗り越えてきた日本のものづくり産業のさらなる振興を目指すものであり、今回のフェアには、160の企業による積極的な商談・交流が行われ、来場者は2日間で18,950人となった。

■平成24年度及び25年度補正予算 創業補助金事業

新たに企業・創業や第二創業を行う女性や若者に対して事業計画を募集し、計画の実施に要する費用の一部を補助することで、地域需要を起こすビジネス等を支援する「創業補助金」事業の地域事務局（大阪府）として、応募、審査事務、採択、交付決定、確定検査等の業務を行った。

（事業期間：平成25年3月22日～27年12月末日）

採択数：平成24年度 295件、平成25年度 201件）

■地域創業促進支援事業

創業希望者に対し、創業に必要な財務・税務等の基本的知識の習得やビジネスプランの作成支援を行う「関西ニュービジネス創業スクール」事業を、9月13日から11月29日まで、ベーシックコースと女性起業家コースの両コース交互に各6回実施した。